

DAN 総合設計 海外研修旅行



2008 Viet Nam

スケジュール表 ※都合により変更になる可能性があります

日付	時間	場所	行 動	備 考
10/18 (土)	7:07	大船駅発	成田エクスプレス	各自で朝食
	7:13	戸塚駅発		
	7:26	横浜駅発		
	8:00	東京駅発		
	9:01	成田空港着	第2ターミナル1ゾーンに集合	
	11:00	成田空港発	日本出発 VN955 ベトナム航空にてベトナム（ハノイ）へ （直行便）	昼食 機内
	14:30	空 港 着	ハノイノイバイ空港着（ハノイ） （所要時間5時間30分、時差-2時間）	
	15:30		アシスタントと合流し専用バスにてハノイ 市内観光（全て車窓となります） （場所：ホーチミン廟～文廟～ホアンキエム など） ※上記場所変更可能性有	両替する為に 銀行に行くこ とも可能です
	18:30		レストラン：「KIM LONG」（中華料理） 場所：ハノイホテル 1F	
	20:30	レストラン 前	バス乗車	全員で夕食
	21:00	ホアピンホ テル着	バス下車 ホテルロビーに集合し連絡事項後解散	

日付	時間	場所	行 動	備 考
10/19 (日)	各自	ホテル	各自で朝食	朝食
	7:50	ロビー集合		
	8:00	ホテル前	バス乗車	
	11:45	バイチャイ港	バス下車	
	12:00	乗船場前	クルーズをしながらシーフードランチ	全員で昼食
			～メニュー例～ サラダ 茹で海老 茹で蟹 揚げ春巻き イカと野菜の辛味炒め 白身魚の姿蒸し スープ 海鮮チャーハン フルーツ コーヒー・紅茶	
	13:30	ティエンクン島	上陸 「天宮」鍾乳洞の幻想的な世界へ 下船しバス乗場まで移動	
	15:00	バイチャイ港		
	15:15	バス乗場前	バス乗車	
	19:00	レストラン前	バス下車 レストラン：クラブオペラ（ベトナム料理）	全員で夕食
21:15		ホテルに徒歩で戻り、ロビーで連絡事項後解散		

日付	時間	場所	行 動	備 考
10/20 (月)	各自	ホテル	各自で朝食後各自で出発 個人（グループ）でハノイ見学 *下記見学参考場所 (場所：ホーチミン廟・ホーチミンの家・ホーチミン博物館・一柱寺・文廟・迎賓館・ハノイ大教会・ソフィテルメトロポール・ハノイ市民劇場・歴史博物館など) 各自で 12:00 までにチェックアウトを済ませてロビーに集合	朝食 ホテル
	12:30	ロビー		各自で昼食
	12:45	ホテルロビー前	荷物をバスにのせて乗車	
	13:45	空港前	バス下車	
	14:00	空 港 着	ハノイノイバイ空港着	
	15:00	空 港 発	ハノイ出発 VN225 ベトナム航空にてホーチミンへ	
	17:00	空 港 着	ホーチミンタンソンニャット空港着	
	17:45	空 港 前	バス乗車	
	18:15	ホテル前	バス下車（レックスホテル着）	
	18:45	ホテルロビー前	ロビー集合 バス乗車	
	19:00	レストラン前	バス下車 「ソングー」にてベトナム料理	全員で夕食
	21:30	レックスホテル着	徒歩にてホテルロビー集合し、連絡事項後解散	

日付	時間	場所	行 動	備 考
10/21 (火)	各自	ホテル	各自で朝食	朝食
	8:50	ロビー集合		
	9:00	ホテル前	バス乗車 税関～ベトナム国営銀行～ベントイン市場 ～統一会堂～サイゴン大教会・ホーチミン郵便局～ホテル ※上記場所変更可能性有	
12:00	バス下車	各自自由 ホーチミン市内観光場所（参考） 場所： 統一会堂・サイゴン大聖堂・中央郵便局・人民委員会庁舎・ベントイン市場・税関・ベトナム国営銀行など	各自で昼食	
21:00			（菱田/岸田）部屋に集合歓談 *自由参加ですが、ホテルへの帰宅確認の為、連絡はしてください。*	各自で夕食
10/22 (水)	各自	ホテル	朝食後 18:00 まで各自で自由行動	朝食
	18:00	ロビー集合		各自で昼食
	18:20	ホテル前	バス乗車	
	18:40	河川前	バス下車	
	19:00	出港	サイゴン川ディナークルーズ（ボンサイ号） *夕暮れ船上にてディナーパーティー（研修旅行ラストナイトイベント）*	全員で夕食
	21:30 21:40	帰港 バス乗場前	バス乗場（専用バスにてホテルまで送迎）	
22:00		ホテル着 （菱田/岸田）部屋にて集合歓談 *自由参加ですがベトナム最後のホテルでの夜です*		

日付	時間	場所	行 動	備考
10/23 (木)	各自	ホテル	朝食後各自で自由行動	朝食 昼食 各自 夕食 各自
	12:00	ロビー	荷物をまとめてロビーに集合。全員で〇〇号室に荷物を移動 *チェックアウトは12:00までに終わらせてください	
	12:10	ロビー	連絡事項後各自20:45まで自由（ロビー集合）	
	21:00	ロビー	荷物をロビーまで集めてバス乗車	
	21:30	空港前	バス下車	
	22:00	空港着	ホーチミンタンソンニャット空港着	
	00:05	空港発	VN950ベトナム航空にて成田へ（直行便） 所要時間5時間45分（時差+2時間）	
	10/24 (金)	07:50	成田空港	

ホテル概要

Hoa Binh Hotel (ホアビンホテル)

ADD : 27 Ly Thuong Kiet Street, Hanoi, VIETNAM

Phone : 84-4-8253315 Fax : (0033-010) 84-4-8269818

Rex Hotel (レックスホテル)

ADD : 141 Nguyen Hue Boulevard, Ho Chi Minh City, VIETNAM

Phone : 84-8-8292185 Fax : (0033-010) 84-8-8296536

都市別ツアーガイドの名前と連絡先

Hanoi

Guide name : Mr.NGUYEN THANH HAI

Mobilphone : 090-321-2019

Ho Chi Minh

Guide name : Mr.NGUYEN VAN THA

Mobilphone : 090-374-5047

Lunch and dinner menus

1.kim long rest (10/18 dinner)

chinese cold dishes

corn soup with crab meat

fried squid with salt&pepper

sauteed mapo bean curd

sauteed shrimps with mixed vegetable

sauteed diced beef with black pepper sauce

steamed slice black fish

sauteed vegetable

fried rice with pork

seasonal fresh fruit

2.bai tho junk (10/19 lunch)

seafood soup
seafood spring rolls
crab farci
steamed shrimp
steamed clams
sauteed fish
fried squid with celery&garlic
steamed vegetable w/ginger
steamed rice
fresh fruit

3.CLUB OPERA (10/19 dinner)

seafood with Asparagus
shrimp and green mango salad
stir-fried prawn with tamarine
grilled beef with honey
pan-fried sea bass fish fillet with dark sauce
steamed rice
seasonal fresh fruits

4.song ngu rest. (10/20 dinner)

tify fish
clams steamed in wine
unfried spring roll
fried shrimp rolling squid
tiger shrimp burned in wine
fresh seafood dipped in hot pot
dessert : fruit&tea

5.BONSAI:EURO ASIAN BUFFET (10/22 dinner)

ハノイ

ノイ・バイ空港



首都ハノイ郊外にある国際空港。市街地の北約40kmの場所に位置する。市内までの連絡方法は路線バスもあるが、手間と時間がかかるため、タクシーもしくは専用車両の利用が望ましい。ホテルによっては空港送迎のサービスを提供している場合もある。

ハー・ロン湾



エメラルド・グリーンの海に突き出た2,000もの奇岩。ハー・ロン湾は、「海の桂林」と呼ばれるベトナムきっての景勝地である。伝説では、この地へ舞い降りた龍は、宝王を吹き出した。その宝王が奇岩となり、海からの侵略者を防いだと云う。

ホー・チ・ミン廟



共産主義革命家、ホー・チ・ミンの遺体が安置されている。ホー・チ・ミン本人は、自身が崇拝の対象となることを望まず、死後は火葬しベトナムの北部・中部・南部に分骨するよう遺言に書き残していた。ベトナム戦争が終結した1975年に建設された。独立運動を生涯率いてきたホーチミンの遺体が安置されている廟所。ホー・チ・ミン自身は、南ベトナムとの戦いがほぼ大勢を決した1969年に死去(心臓発作)した。

ホー・チ・ミンの家



高床式で、質素で素朴な住居。1958年から亡くなるまで11年間、実際に暮らしていた住居と官邸が公開されている。戦時下での住居ということもあり大変簡素な高床式の造りとなっている。

ホー・チ・ミン博物館



ホー・チ・ミン生誕100年を記念して建てられた。ホー・チ・ミン氏に関する資料や、縁の品などが展示されている。1990年に生誕100周年を記念して建設された博物館で、故ホー・チ・ミン主席の生涯に渡る事跡が展示されている。

一柱寺



李王朝時代の建造。一本の石柱の上に建てられていることから、一柱寺と呼ばれる。1049年に建設された寺で、1本の柱の上に仏堂を建てたことから寺の名前となった。補修されているが戦争による被害が大きい。

文廟



李王朝時代に建てられた孔子廟。ベトナム最古の大学もあった。1070年に建設された孔子廟で、後の1076年にベトナム初の学問所が開校した場所とされる。境内には近世の官僚登用に用いられた科挙登用試験の合格者の名前が刻まれている石碑が建つ。

迎賓館



フランス統治の影響で西洋風の建物がいくつも残されている。

ハノイ大教会



南国の過度の湿気に黒ずみながらも、いまだその威厳ある佇まいを失わないセント・ジョセフ教会。仏教寺院の跡地に建てられ、1886年のクリスマスに落成。パリのノートルダム教会を手本とし、高さ17mのドームと、しなやかな曲線で装飾された22mの2つの尖塔を誇らしげに持つ、ハノイ最大のコロニアル教会建築だ。色とりどりの光を放つステンドグラスは見るものを魅了し、ライトアップされたその姿は荘厳そのもの。前面に配置された像は精巧な装飾のパターンで飾られ、内部の天井にはゴシック教会建築の特徴である尖頭アーチが連なっている。天井を、またそれを見る者の視線をより高く導き、異国の地での厚い信仰をゆるぎないものとするその姿は、ハノイのカトリック信者達の信仰を一身に集める大教会の名にふさわしい。

ソフィテルメトロポール



1901年完成と、歴史的建築としての価値も高く、特に正面入り口から続く階段は、100年以上前のオリジナル。その他にも木の手すりに黒光りするフロア、上部に広がる吹き抜けなど、当時の面影をしのぶ見所が随所に残っている。長い歴史の中、度重なる修復・増築を繰り返しているにもかかわらず、今もなおフレンチ・コロニアルの趣は変わらず。チャップリンのハネムーンからジェーン・フォンダの反戦スピーチまで、様々な歴史を見てきたこのホテルは、これからも、更なる時を積み重ねるに違いない。

ハノイ市民劇場



ハノイのフランス建築の象徴とでもいうべきオペラ座。現在はハノイ市民劇場と名で呼ばれるこの建物は、その造り、その華麗さともに、Garnier（ガルニエ）が設計したパリのオペラ座を十分に彷彿させる一大建築だ。大理石をふんだんに使った入り口ホールの大階段や、きらびやかな金色の装飾など、まさにフランス社交界の華やかさを形にしたかのよう。また、国会議事堂が作られるまでは、ベトナム国議会の議事堂としても使用された。正面に構えるイオニア式の列柱など、過度なまでの重厚な造りは、今も人々を魅了してやまない。

歴史博物館



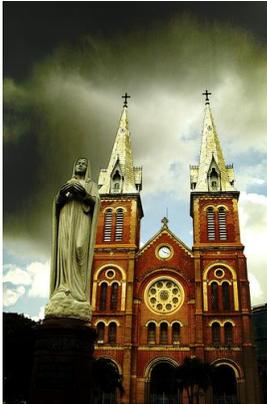
ハノイの街並みの基礎を作り上げた Ernest Hebrard（エルネスト・エブラール）。この歴史博物館（旧フランス国立極東学院付属博物館）もまた、そんな彼の作品だ。オークル系の色調でまとめられたこの建物は、ハノイで最も美しい建築物のひとつといわれ、インドシナ様式の傑作とされている。特に大きな八角錘の屋根を持つエントランスホール、あえて左官仕事で描かれた壁面の小屋組みや屋根の下にある梁・桁など、至る所に徹底したエキゾティシズムが貫かれていることが見て取れる。しかもまた、この建物は記念すべき彼のインドシナ様式の第1作。つまり、従来のフランス式ともベトナム式とも異なるこの建築には、はるばる海を越えやってきたフランス人の好奇心が、そこかしこに詰め込まれていると言えるのだ。

統一会堂(旧大統領官邸)



大統領官邸、地下には秘密の軍事施設があった。現在は会議や、国賓を迎える場所として使われている。

サイゴン大聖堂



この大聖堂は1877年に建築が始まり、3年の年月をかけ1880年4月11日に落成。直線と曲線を見事に合わせた格調高いローマン様式の聖堂で、幅35m、奥行93m、高さ57mを誇っている。しかも、材料はマルセイユ産のレンガをはじめ、本国フランスからわざわざ運んできたものを使用。当時のフランスが、この大聖堂へどれほど力を入れ、国の威信を保とうとしていたかがよく分かる。しかし、あくまでここはベトナム。熱帯でのレンガ造りの建物は、実は室内があまりに蒸し暑くなり、実用性は皆無だった。そこで造られたのが外壁に幾何学模様を描く通風孔。しかもその通風孔も、モルタル塗装がされていない質感豊かな赤レンガを、巧みに抜いてデザイン性をアップ。フランスの建築スタイルと南国独自の気候風土、その双方を計算に入れた珠玉のデザインとして、この大聖堂の特徴となっている。

中央郵便局



鮮やかな黄色の外壁にフランス著名人の名前が刻まれたプレートが輝く中央郵便局。十分な光が差し込むよう作られたガラス張りの大ボールド天井が特徴で、当時フランスでブームの鉄骨構造を取り入れた、力強いデザインが魅力。入りロスの左右壁面には「1892年当時のサイゴン」と「1936年の南ベトナムとカンボジアの電信網」の2つの地図もある。

人民委員会庁舎



全面はこれでもか、の装飾づくしで、これはナポレオン時代に古代ローマの様式を再現しようとしたフランスは「アンピール様式」の特徴で本国の力を誇示するためのもの。中央時計塔は左右にシンメトリな建物を備え野生の獣を従える女性や剣を携えた女性像など、その華やかな装飾は必見。

バンタン市場



市民の台所として、絶えず人・人・人でごったがえすバンタン市場。飛び交う売り子の声や、雑多な商品についつい目を引かれがちだけど、建物自体の造りにもちょっと注目してほしい。時計塔を正面に、タイルを並べた平面屋根と、東西南北4つのゲートを持つ、他の建物とは異なった正方形の構造。入り口である3つのアーチの上には、全方向に牛、豚、鳥、野菜、魚など、市場で売られている商品をかたどったレリーフが飾られているのも可愛らしい。市場の規模はホーチミン市内で最大。時計塔の内部通路の上には、人目を忍ぶように建築年を記したプレートが飾られており、薄汚れたその様は、この市場が経験してきた年月を静かに伝えてくれるよう。

税関



ホーチミン記念館が未完成のベランダ建築なら、税関の建物はまさにその完成形。一見、一つの建築物（壁面）のように思えるけれど、よくよく見るとベランダ部分と本体のバランスが整った、デザイン、遮光の機能性ともに充実の造り。ハムギー（Ham Nghi）通りの突き当たりにあるが、税関としての役割から、見学は外からだけにしておこう。

ベトナム国家銀行



中国の上海同様、ホーチミン市の川岸にも巨大な西洋建築が数多く並ぶ。こうした街並みはアジア各地に共通して見られ「バンド」と呼ばれるもの。サイゴン川沿いにはその昔、経済の中心として多数の銀行が建てられた。旧インドシナ銀行であるベトナム国家銀行もその一つ。重厚な石造りの列柱が正面に並ぶ迫力の姿は、国の玄関口としての力強さに溢れている。

ホーチミン記念館



屋根に月へと向かう二匹の龍がいることから Nha Rong (House of Dragon)の愛称で有名なこの建物だが、特筆すべきは実は周囲のベランダ。建物の外側に吹き出しを持ち、内側に窓付きの壁面があるこの構造は「ベランダ建築」と呼ばれている。建物を二重にすることによりベランダで日差しを遮断、更に風通しもよくなるという一石二鳥の建築方法で、熱帯にやってきた西洋人が少しでも涼しく暮らす為に考え出されたもの。だが、本来のベランダ建築としては、大胆にはみ出したベランダなどあまりに不完全で珍しい。アジア各地へ西欧列強が進出してきたまさに初期の姿を留める貴重なものといえるのだ。

歴史館博物館



サイゴン動・植物園の敷地内にある歴史博物館。1929年、インドシナ研究協会の手により建てられた、中国とフランスの建築技術が融合した秀逸のデザインを誇る建物だ。八角錐のドーム屋根の角を龍や不死鳥の彫刻が彩り、屋根の中心（尖端）には4つの玉が天に向けて連なる。北京にある夏の離宮とよく似た造りとも言われていて他の建築物に比べ、中国の影響を強く受けているのが伺える。また、ドームのある建物の裏側、つまり中庭を取り囲む回廊のような部分も、地味だけれど実は少し珍しいもの。現在は展示室となっている所だが、中庭に面して大小多数の窓を設置。室内へ十分な光が一日中差し込むと同時に、自然と換気もされる造りとなっている。こうした自然の照明と換気システムは、ベトナムの中でもホーチミン市でしか見られない特別なもので、暑い南部用のアレンジともいえる。